



やさしく かしく たくましく

「元気と笑顔」のある学校

学校だより NO.2

令和5年4月26日

多治見市立池田小学校

TEL: 0572(22)0883

「挨拶＝魔法の言葉」～心をひらき、元気と笑顔を～

毎朝、校門坂の下で子どもたちを迎えていると、「おはようございます」と、多くの子どもたちからの挨拶があります。この3年間のコロナ禍の影響もあり、声を出して挨拶することに慣れていないこともあり、まだまだ全員が挨拶できるわけではありません。それでも、大きな声で挨拶をしたり、その場に立ち止まっておじぎまでして挨拶をしたりする子もいます。1日の始まりの朝に子どもたちからもらう挨拶は、とても清々しく、今日一日をがんばろうという元気をもらうことができます。



この「挨拶」、語源を調べると、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深浅を試すことを「一挨一拶」といい、その言葉に由来するそうです。「挨」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る」「擦り寄る」という意味があります。つまり、お互いの心を開いて、相手の心に近づいていくという意味になります。

確かに「おはようございます」「こんにちは」など挨拶は短い言葉ですが、この言葉が相手との距離を縮め、親しみが湧き、この言葉をきっかけにコミュニケーションをスムーズに進めることができます。挨拶する側は心を開き、された側も心を開いていきます。お互いが心を開いて近づき、人間関係を築く第一歩になるのは間違いないです。

また、私たちが使う挨拶には、「おはよう」は「お早くから、ご苦労様でございます。」という朝から働く人をねぎらう意味が込められ、「こんにちは」には「今日は、ご機嫌いかがですか」というお昼に出会った人の体調や心境を気遣う意味が込められているそうです。挨拶としての言葉は短いですが、その言葉には相手に対してのねぎらいや気遣いの気持ちが込められているのです。

相手との心を開く言葉、相手へのねぎらいや気遣いの気持ちの込められた言葉、そして相手に元気を与える言葉、短い言葉ですが、大きな意味の込められた魔法の言葉が挨拶です。挨拶の意味を紐解いて考えてみると、その大切さが分かってきます。

【あいさつの合い言葉】

「あ」…明るく
「い」…いつでも
「さ」…先に
「つ」…伝わるように

いよいよ新しい年度が始まりました。私は最高学年として、この1年間取り組んでいきたいことがあります。それは、全校のみんながたくさん笑って帰ることができる学校をつくることです。「池田っ子宣言」の「安全を守る」と「あいさつで元気」に力を入れます。

.....(中略).....

私は5年生のとき、執行委員会として、あいさつや、全校のみんなの安全を守る活動に取り組みました。あいさつは、返してくれる子がどんどん増えてきました。みんな笑顔で返してくれました。それを見て「あいさつは短い言葉だけれど、人を笑顔にできる魔法の言葉だな」と気づきました。「池田っ子宣言」は、「あいさつで元気にする」となっています。「あいさつをすることで、自分も相手も元気になる魔法がかかる」、本当にその通りだと気づきました。私はそんなあいさつを自分から発信していきます。まずは友達、通学班のみんな、そして先生方、SPさん、地域の人に、「魔法の言葉＝あいさつ」をかけていきます。さらに、登下校でお世話になっているSPさんに、通学班の



みんなで大きな声で「魔法の言葉＝あいさつ」をかけられるように、通学班の子に声をかけていきます。

自分も友達も、地域の人も「魔法の言葉＝あいさつ」をきっかけに、お互いが元気に過ごすことができれば、それはとてもいい一日になります。毎日地域まるごと元気でいられる池田小学校にしたいです。

最高学年として、まず、私が大きな声であいさつをして、いい朝、いい毎日を過ごしていけるように努力します。私がいさつしたら、元気な声で返してくれるとうれしいです。
全校のみんなや地域の方に、私の魔法が届いて、笑顔になってくれたら、もっと嬉しいです。

そんなあいさつが増えたら、池田小学校のみんながたくさん笑って帰ることができる学校になります。そうなるよう努力していきます。

上記は、始業式での6年生代表の話です。挨拶で池田小や地域を、「元気」と「笑顔」でいっぱいの学校にしたいという願いが強く感じられます。

授業参観、ありがとうございました



4月22日(土)、春のさわやかな風と、草木の鮮やかな緑を感じ、子供たちとともに通学路の確認と点検を行いながら来校していただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着き、2つに分けたり人数制限したりすることなく、多くの保護者の方にご参観いただくことができました。ありがとうございました。

新しい学年、学級での子供たちの学習ぶりはいかがでしたでしょうか。多くの保護者の視線があり、子供たちはかなり緊張しているようでした。集中して取り組んでいる姿や頑張っている姿を見せようと、いつもよりはりきっているように感じました。



第一回学校運営協議会 ～「地域とともにある学校」へ～

4月19日(水)第一回(拡大)学校運営協議会を開催しました。学校と地域が教育目標を共有し、組織的・継続的な連携を図りながら、健全な子供たちを育てていくことを目的にしています。今回は、今年度の学校経営方針をもとに、運営協議員その他、地域の各団体やPTA家庭教育委員長、学年主任を交え、年間の具体的な活動計画について打ち合わせも行いました。

「地域とともにある学校」(コミュニティ・スクール)としての授業や活動がいよいよスタートします。



池田小学校 5 月行事予定(4. 20版)			下校時刻			スクールバス (申請中)		
日	曜	学校行事	特別	5 時間	6 時間	1 便	2 便	3 便
1	月	引取訓練 1年(13:30～)	1年 引取訓練	2～6年 15:00			15:05	
2	火	個人懇談 1年(PM) 命を守る訓練予備日 耳鼻科健診 3年希望者(13:30)	1年 13:20	2～6年 14:30		13:53 バス停	14:40	
3	水	憲法記念日						
4	木	みどりの日						
5	金	こどもの日						
6	土							
7	日							
8	月	個人懇談 1年(PM) 内科検診 5, 6年(13:30)	1年 13:20	2～6年 15:00			15:05	
9	火	個人懇談 1年(PM) PTA地区、クラス、家庭教育委員会	1年 13:20	2・3年 14:30	4～6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
10	水	クラブ決め 6年 尿検査	1年 13:20	2～6年 15:00			15:05	
11	木	クラブ決め 5年 委員会⑥	1年13:20 2年13:45	3・4年 14:30	5・6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
12	金	クラブ決め 4年	1・2年 14:00	3・4年 14:45	5・6年 15:35	14:10	14:55	15:45
13	土	市P連定期大会(12:30エール) 土曜学習						
14	日							
15	月	安全点検 池田っ子タイム計画会 6年(朝活) 内科検診 3, 4年たんぽぽ・ひまわり	1年 14:10	2～6年 15:00			15:05	
16	火	知能検査①②2, 5年 眼科検診(13:00) プール掃除業者作業	1年 13:45	2・3年 14:30	4～6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
17	水	掃除開始 1年 5時間授業開始 1年 歯科検診(9:00) 東濃P家庭教育研修会(14:00エール)		全校 15:00			15:05	
18	木	クラブ⑥	1・2年 13:45	3年 14:30	4～6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
19	金	スマホケイタイ安全教室 ③1～3年⑤4～6年	1・2年 14:00	3・4年 14:45	5・6年 15:35	14:10	14:55	15:45
20	土	PTA奉仕作業						
21	日							
22	月	登校安全指導(中) 家庭学習がんばり週間(～28日)		全校 15:00			15:05	
23	火		1年 13:45	2・3年 14:30	4～6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
24	水	池田っ子タイム(1組) 市P家庭教育委員会(19:00駅北)		全校 15:00			15:05	
25	木	池田っ子タイム(2組) 委員会⑥ 尿検査 血液検査 5年(8:30～10:30)	1・2年 13:45	3・4年 14:30	5・6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
26	金	プール掃除 5, 6年 PTA本部役員会(19:00)	1・2年 14:00	3・4年 14:45	5・6年 15:35	14:10	14:55	15:45
27	土							
28	日							
29	月	プール掃除予備日 H-QU検査 4～6年 内科検診 1, 2年(13:30)		全校 15:00			15:05	
30	火		1年 13:45	2・3年 14:30	4～6年 15:20	13:53 バス停	14:40	15:30
31	水			全校 15:00			15:05	

<親育ちコーナー>

「親育ち4・3・6・3たじみプラン」

多治見市教育委員会教育推進課

多治見市では、『親が育ち、親子の良好な関係を築くこと』を目的として、「親育ち4・3・6・3たじみプラン」を策定しています。この4・3・6・3の4は、子どもがお腹の中にいる時から3歳までの4年間、3は4歳から6歳までの3年間、6は小学生の6年間、3は中学生の3年間のことです。

教員委員会、子ども支援課、保健センター、文化スポーツ課、くらし人権課、多治見市社会福祉協議会が連携し、保護者の皆様に、有益な情報や学びの機会が提供できるよう決意し、取り組みを進めております。

今年度も各小中学校の学校報に「親育ちコーナー」を設けていただきました。子どもたちの笑顔と成長に係る様々な話題を通して、共に学びあう場になることを願います。

学校、保護者・地域の皆様と関係機関。「親育ち4・3・6・3たじみプラン」の事業が、子どもたちの笑顔を支える全ての人のプラットフォームとなることを切に願い、事業を推進して参ります。ご理解とご協力を、どうかよろしくお願い致します。